

特集 綾瀬の教育

確かな学力の育成は 学校・家庭・地域の連携で

市教育委員会

市教育委員会では、子どもたちの確かな学力の育成に向けて、授業改善に取り組み、学校での学びの充実を図っています。また、家庭学習や生活習慣の改善のために、保護者の協力で学びづくり運動を推進しています。学力は、日常の生活習慣と相関関係があることから、学校と家庭・地域が連携して、子どもたちを育てていくことが大切です。

全国学力・学習状況調査の結果から見える子どもの姿

小6・中3を対象に実施 学力などを分析・改善へ

今年度の全国学力・学習状況調査が、小学6年生と中学3年生を対象として昨年4月に実施されました。同調査は、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的として行われているものです。

市教育委員会では、8月に文部科学省から出された結果を基に、本市の状況の分析を進め、12月にその分析結果を市ホームページなどで公開しました。

学校では、この分析を基に、児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとして捉え、指導の改善を図ることで、確かな学力の向上につなげていきます。

を記述することに、中学校では関連や理由を説明することに課題がありました。

質問紙調査の結果に見る生活習慣や学習環境など

生活習慣や学習環境などに関して調査した児童・生徒への質問紙調査の結果から、本市では良好であるところとして、次の状況が見られました。

〈良好であるところ〉

- ▽小学校
 - ▽朝食を毎日食べること
 - ▽毎日の起床時刻
 - ▽学校に楽しく通うこと
 - ▽学校の宿題をすること
 - ▽テレビやインターネットでニュースを見ること
 - ▽保護者の学校行事への参加
 - ▽自尊心・規範意識に関すること

〈課題であるところ〉

- ▽中学校
 - ▽朝食を毎日食べること
 - ▽毎日の起床時刻
 - ▽読書が好きなこと
 - ▽授業の予習をすること
 - ▽物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがあること
 - ▽自尊心に関するところ
- また、課題であるところとして、次の状況が見られました。
- ▽家庭学習の取り組み方の見直しと時間の確保が挙げられます。特に、テレビ・ゲーム・携帯電話などの利用時間を見直し、家庭学習の充実を図る必要があります。
- 調査結果は、下のグラフのとおりです。
- 図教育研究所 ☎70・5659。

授業改善と生活リズム確立 あやせ学びづくり運動

確かな学力の向上に向けて、23年度から次の2項目を柱に「あやせ学びづくり運動」に取り組んでいます。

①授業改善(分かる授業の推進)

学校では、子どもたちにその時間に行う学習の目標を提示し、学んだことを振り返って終わるという授業を推進しています。

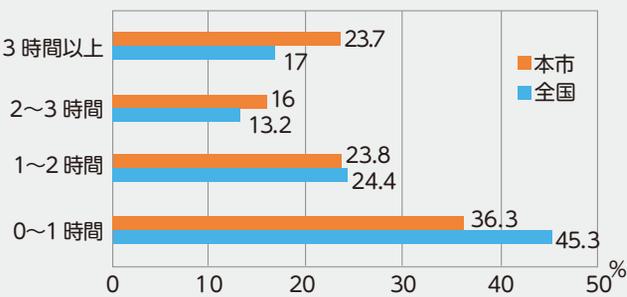
各学校では、それぞれの研究課題を設定し、大学教授などを講師に招いての学習会や、学習指導案の検討などを行いました。また、他校の先生の参加を得て、研究授業・事後研究会などを行い、授業改善に取り組まれました。

研究実践推進室では、各

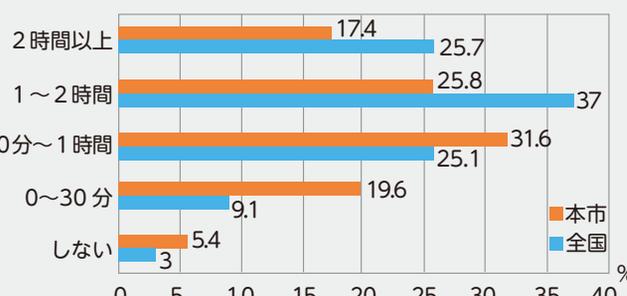
改善に向けて家庭で取り組みを

※グラフは学力・学習状況調査の結果(小学生)

平日のゲームの利用時間



平日の家庭学習時間

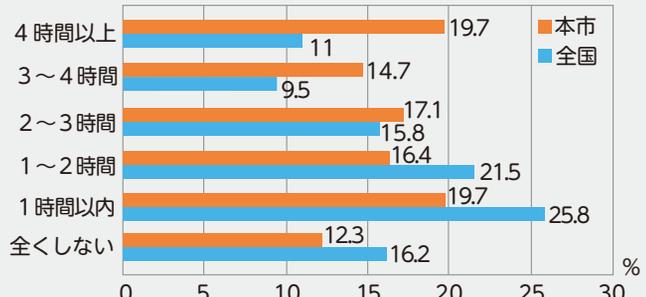


中学生の課題 ※グラフは学力・学習状況調査の結果(中学生)

テレビなどの視聴や、ゲーム、携帯電話・スマートフォンの利用の見直し

平日に2時間以上テレビなどを視聴したり、ゲームをしたりする生徒や、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネットをする生徒は、いずれも全国を上回っています。学習や健康に悪影響を及ぼさない適切な利用について、確認や見直しが必要です。

1日当たりのゲーム時間



家庭学習の支援や協力

授業の復習や宿題など、学習内容に課題がありました。家庭での復習は基礎・基本の定着に大変有効で、学力の向上にも直結しています。限られた時間の中で、目的意識を持って効果的・主体的に学習できるように、励ましの声掛けや学習環境づくりをお願いします。

家での授業の復習

